

第 137 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 掛 金
備	品	備品減価償却累計額	未 収 入 金	仮 払 金
支 払 手 形		買 掛 金	未 払 金	前 受 金
商 品 券		借 入 金	当 座 借 越	仮 受 金
引 出 金		資 本 金	売 上	固 定 資 産 売 却 益
雑 益		支 払 手 数 料	租 税 公 課	消 耗 品 費
通 信 費		固 定 資 産 売 却 損	手 形 売 却 損	雑 損

1. 先月末に受け取った本田商店振出しの小切手 ￥ 600,000 を当座預金に預け入れた。現在、当座預金の口座残高は ￥ 500,000 の借越しとなっている。なお、当店は当座預金勘定と当座借越勘定の 2 勘定制を採っている。
2. 収入印紙 ￥ 1,800 と郵便切手 ￥ 8,200 を近隣の郵便局で購入し、代金は現金で支払った。
3. 備品（取得原価：￥ 900,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：6 年、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を 5 年間使用してきたが、6 年目の期首に ￥ 200,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
4. 掛け代金の回収として受け取った、得意先長友商店振出し、当店あての約束手形 ￥ 300,000 を取引銀行で割引き、割引料 ￥ 2,000 を差し引いた手取金が当店の当座預金口座に振り込まれた。
5. 従業員が出張から戻り、さきの当座預金口座への ￥ 150,000 の入金、得意先香川商店から受け取った内金 ￥ 40,000 および得意先遠藤商店からの売掛金 ￥ 110,000 の回収によるものと判明した。なお、入金時には内容不明の入金として処理している。